

町木モミジを街路樹に

町長／道路環境に応じ検討



別府静春議員

別府 国道267号線船木地区のカンザン竹、328号線南立地区のキンメイモウソウ竹は一部消滅している。町木への植え替えは。

町長 竹のまちとして景観整備をしてきたが、タケノコの生育不良で好ましくない箇所もあり、国道の南立地区は、竹以外で要請しています。モミジの街路樹については、景観的な条件や「竹のふるさと」としてのイメージを考慮し検討します。

路線バス廃止対策は

町長／関係自治体と協議検討

別府 岩崎グループバス路線廃止申請に伴い、JR、南国バス廃止の動きはないものか。また、本町の交通対策の構築は。



一部が枯れている街路樹（平川地区）

町長 JRバスは廃止の動きはないが、南国バスについては、路線合理化について協議していきたい旨、示されています。今回の廃止届を受けて公共交通機関の位置づけと町内の実態を勘案し、コミュニティバス・乗合タクシー等を組み合わせ検討します。

高齢者畜産対策は

町長／継続の方向で検討



久保道夫議員

久保 町の肉用牛農家の大半は高齢者である。本年より国の特別導入事業が中止になったが、町長は今後の高齢者対策をどう取り組まれるか。

町長 特別導入事業の主旨は十分理解しており、現在、国に存続を要請しております。国が事業中止を決定した場合は、県と町村で事業の継続も考えられます。県が継続ということであれば、町も基金予算を考慮しながら継続の方向で対処してまいりたいと思います。



牛の手入れ中の高齢者（時吉地区）